

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月19日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171100274		
法人名	株式会社 コムス		
事業所名	コムスのほほえみ千歳		
所在地	北海道千歳市北陽1丁目11番8号 (電話) 0123-27-7531		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月18日	評価確定日	平成19年6月22日

## 【情報提供票より】(平成19年6月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 13人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(132,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 実費 円		

### (4) 利用者の概要(6月8日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	5名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 82.2歳	最低	72歳	最高	98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	千歳豊友会病院 菅野歯科医院
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に位置し、近隣には公園やスーパー、畑が隣接して環境に恵まれた中に設立されているグループホームである。敷地内には、野菜などの収穫を楽しめる畑や日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などができるベランダが用意されている。利用者一人ひとりの居室には使い慣れた椅子やテーブル、家具などが持ち込まれ趣味を活かしたり安心して過ごせる場となっている。運営推進会議も評価日現在3回実施され、地域の代表や知見を有する専門家が加わり意見交換やケアサービスの取り組み状況などが話し合われ日々の活動に活かされている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では注意の必要な物品の管理について改善項目として揚げられていましたが、洗剤や薬、刃物など偶発的事故に備えて保管場所が決められ取り組まれています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に取り組む中で、職員が参加して評価が実施されケアサービスの質の向上に利用されています。また、管理者、職員は評価の意義を理解して運営推進会議でも報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在3回実施されています。主な主題についてはグループホームの運営について(地域密着型サービスについて)市の実地指導での改善点について毎日のホーム内での生活の様子について行事参加について次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	「千歳のほほえみだより」を定期的に発行して利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子などが家族に報告されています。また、センター方式の採用で、より質の高い介護計画の作成やケアサービスに活かされています。今後は、家族も参加した利用者一人ひとりの生活歴の把握をより充実され介護計画に反映されると共に家族会の機能をより活発化されることを期待しております。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会への加入や地域の行事への参加、保育園児との交流を通じて地域の人たちとの連携に努めています。今後は、運営推進会議や家族会を通じて認知症に対する理解や広報に取り組み地域との理解をさらに促進される交流を期待しております。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念をもとに、朝・夕の申し送りで職員が確認し合い共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性をカンファレンスで話し合っている。また、朝・夕の申し送りで唱和して理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		それぞれのスタッフが理念実現のために具体的な目標を明確にして取り組む活動が計画されています。
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会行事への参加や保育園児との交流、運営推進会議を通じて認知症に対する理解や広報の為に地元の人々との交流に努めている。		運営推進会議を通じて、認知症に対する更なる啓発と広報に取り組まれることを期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、全員で取り組みがされている。また、自己評価や前回の外部評価結果についても運営推進会議で報告され、評価を活かして改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在3回開催されている。メンバーは利用者の家族、町内会長、地域包括支援センター、民生委員、管理者・職員で構成されケアサービスの向上に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市との連携の重要性について理解して日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、市との懇談会や研修会の開催も検討されている。</p>
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>年2回の家族会の実施や「千歳のほほえみだより」の発行で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介など家族に情報提供されている。また、居間にはスタッフの紹介が掲示されている。</p>		<p>今後は、通信が発行されているので認知症の啓発に関する記事や写真など取り入れる工夫もされてみては如何か。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口を明確にして意見や苦情・相談を受け付けたり、自己評価・外部評価の結果を運営推進会議で報告して意見を聞く機会を作ったり運営に反映させている。</p>		<p>家族会の機能を更に活性化される取り組みも工夫されることを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>共用空間の居間で全スタッフの紹介を掲示するなど家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の移動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員採用時には、法人内のスタッフ研修、その後の導入研修の実施や送りなどで職場内研修やOJTの実施がされている。		スタッフの研修意欲が高いので、スタッフのそれぞれの段階毎の研修をより充実されることが期待されます。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の福祉施設の連絡会や研修会に参加して、交流を持つ取組みがされている。		スタッフの研修の機会を含めて、同業者との相互訪問や研修会などネットワーク構築についても検討されることを期待します。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取組みや、入居判定会で検討され場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、センター方式を利用して利用者の過去の大事な出来事や生活歴を家族と共に協力しながら把握してスタッフで共有し、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		センター方式の更なる充実を期待しております。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で一人ひとりの「私の気持ち」をスタッフ間で共有して、散歩や買い物や俳句、編み物、料理などの趣味への支援や本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		<p>難しい面もあると思われませんが、ご本人が金銭を使う喜びや意義など見出せるように検討されることを期待します。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		<p>水分・食事摂取量、バイタルチェックなど具体的な記録がとられ個別の状態が良く把握されている。今後は、重複する記録など一目瞭然に簡素化される取り組みについても全社的に検討されてみては如何か。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院や送迎の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	提携医や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について医師への相談や利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら職員間で共有される取組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取組まれている。また、記録等の個人情報の扱いについては個人情報保護法に対応した配慮がされた取組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの好みや力量を把握して、散歩や買い物、食事の準備、俳句・編み物などの趣味や莓狩りなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めていない。週2回を目安に利用者の希望に応じてゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握されるように取組まれ、食事の準備や畑での野菜の収穫、散歩や買い物など気分転換のための支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、莓狩りや保育園児との交流など気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の支援がされている。今後、更に外出の機会を増やせるように支援されることを期待します。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなくついていき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災などの緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が年2回、通報訓練が年1回実施されている。		今後は、消防署に依頼して救急救命の定期的な実施も計画されているので、継続的に実施されることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<b>栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表にカロリーが記載され、具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスについても把握されて支援されている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<b>居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居間には、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。		
30	83	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、使い慣れた椅子やテーブル、タンスなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。